

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

遺伝性乳がん卵巣がん患者へのリスク低減卵管卵巣摘出術の実施状況と地域診療圏における今後の課題

2. 研究の対象患者

卵巣がんおよび付属器摘出後の方を除外し、2021年1月1日～2026年3月31日の間に当院で遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)と診断された女性患者さん17人

3. 研究の対象期間

2021年1月1日～2026年3月31日

4. 研究の概要

遺伝性乳がん卵巣がん(hereditary breast and ovarian cancer:HBOC)診療において、リスク低減卵管卵巣摘出術(risk reducing salpingo-oophorectomy:RRSO)は卵巣がん発症抑制に有効な手段である。2020年の保険適用拡大以降、国内での実施数は増加しているが課題も残っている。本研究では当院でのRRSO実施状況を調査し、地方診療圏におけるHBOC診療の課題を考察することを目的とする。

5. 研究実施予定期間

2026年5月29日～2027年12月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：生年月日、年齢(診断時、手術時)、性別、身長、体重、既往歴(特に乳がん)、合併症、最終観察日・観察項目、入退院日、手術名・手術日、診断名、術後病理結果(STICの有無など)、BRCA1/2遺伝子変異の有無

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究対象者(又は代諾者)個々に結果説明することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者：産婦人科 森 春菜

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)